

経営比較分析表（令和3年度決算）

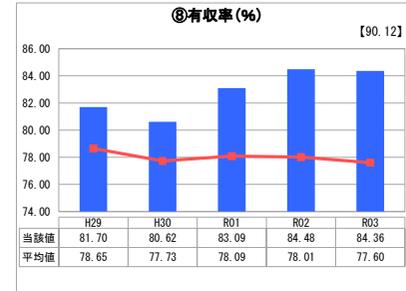
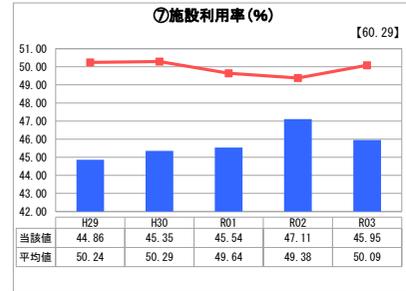
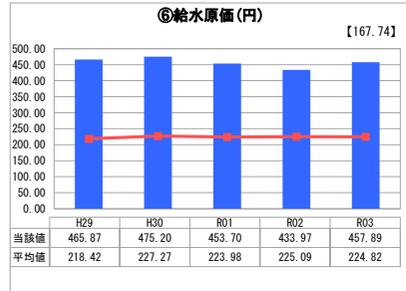
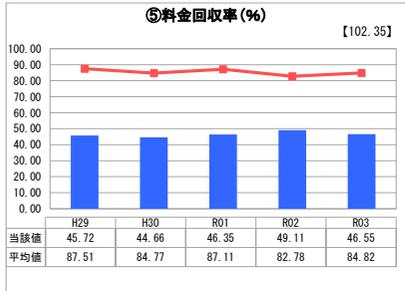
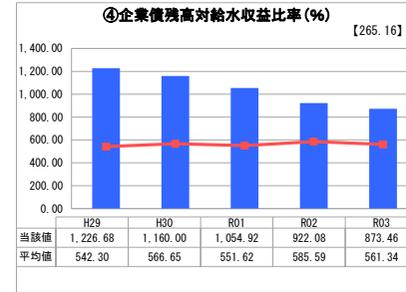
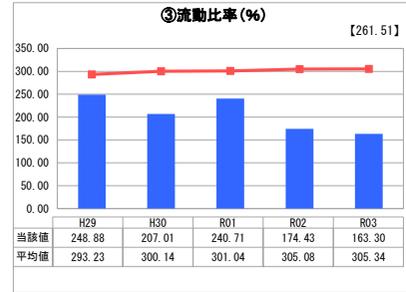
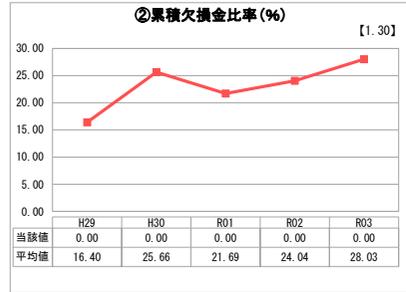
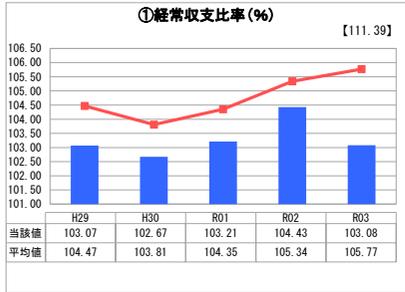
佐賀県 玄海町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	72.06	99.35	4,570	

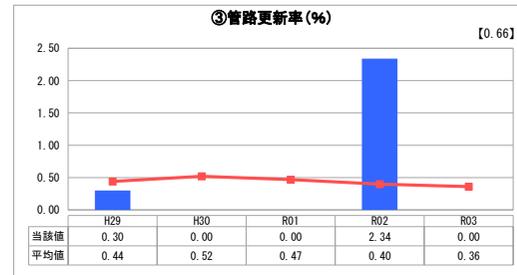
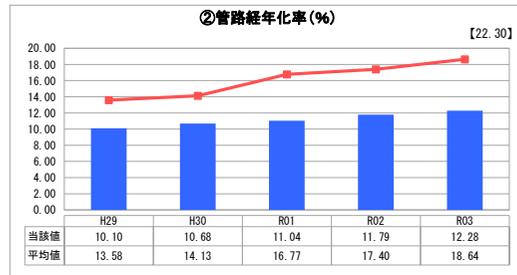
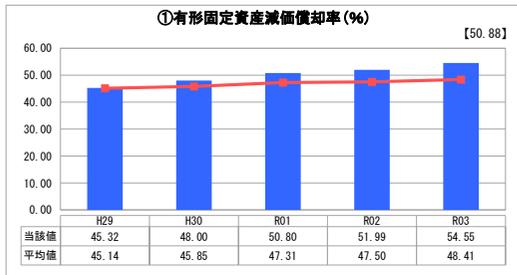
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,292	35.92	147.33
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
5,197	35.90	144.76

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

玄海町は、①経常収支比率は黒字となっているが、⑤料金回収率は類似団体平均値を大きく下回っている。これは、類似団体と比べ水道料金等の営業収益で費用を賅えておらず、一般会計からの繰出金によって不足分を補填しているという事である。また、⑥給水原価については、類似団体と比較し倍以上の値段になっている要因としては、山間部が多く、施設を必要とするため、電力料や薬品費等の維持管理にかかる費用が高くなっているためである。

③流動比率は100%を超え支払い能力については問題なさそうだが、こちらも繰出金に依存しているという現状であり、流動資産も減少傾向にあるため経営改善を図る必要がある。

④企業債比率については、新たに借入を行っていないため減少傾向にあるが、給水収益が低く類似団体より高い比率となっている。

⑦施設利用率が平均を下回っている要因としては人口減少に伴い、計画していた給水人口を下回り水需要が減少しているためである。

以上の事から本町の水道事業については、他会計補助金に依存しているという事が課題であり、給水原価の減少等に努め、料金回収率を上昇させていかなければならない。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率については、H29年から類似団体の平均をこえており、資産の老朽化が伺える。

②管路経年化率については、類似団体と比べ低い数値を保っており、法定耐用年数を超えた管路の保有は少ないと推測できる。

③R2年は管路更新をし管路更新率は高くなっているが、年度によって異なっているため計画的な更新が必要と思われる。

今後の方針としては、施設の統廃合を行い合理化を図っていく。

全体総括

本町の経営状況は、一般会計からの繰出金に依存しており、給水収益のみでは水道事業の運営は厳しいのが現状である。

そのため、これから施設統合や料金改定を行い経営改善を図っていく予定である。